

人口減少社会・金利上昇局面における 預金関連ソリューションのご紹介

【概要】

株式会社 浜銀総合研究所

情報戦略コンサルティング部

人口減少時代における預金戦略への課題と対応

- 金利のある世界へ移行しつつある今、預金は再び「資金調達の柱」として重要な役割を担い始めています。一方で、人口減少や高齢化の進行により、将来的に預金者数や残高の減少リスクが高まることが懸念されています。
- こうした背景のもと、地域金融機関が持続可能な経営を実現する上では、**将来どの程度の預金を確保できるのか**を定量的に把握することが重要な課題となります。また金利リスク管理の観点にて、**コア預金モデル再検証の必要性**が指摘されています。

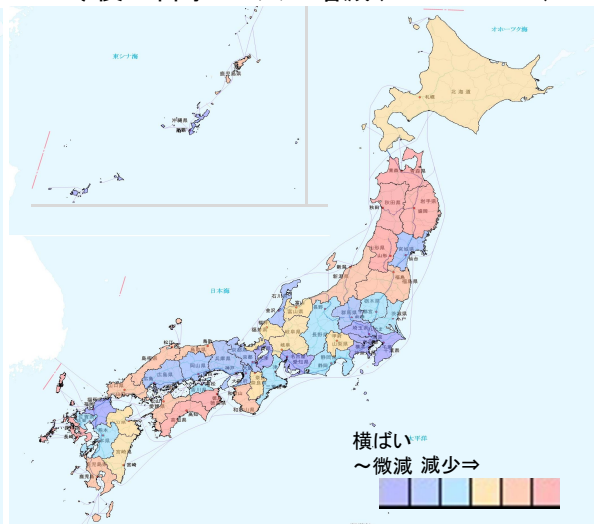
東京への資産集中とともに、全国的に人口減少が加速

個人預金残高シェア(2024.12時点)



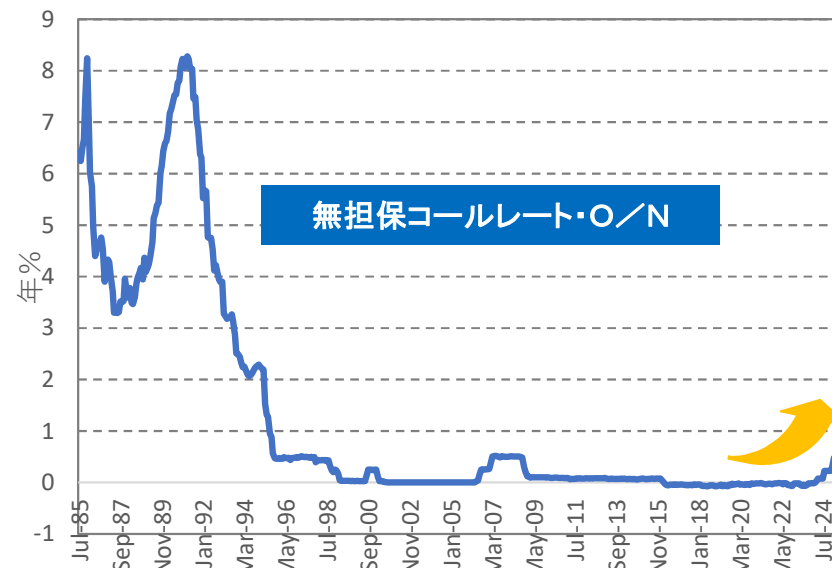
(出所)日本銀行「預金・貸出関連統計」より作成

今後5年間で人口増減(2025→2030)



(出所)人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成

“金利のある世界”への移行



(出所)日本銀行主要時系列統計データ表無担保コールレート・O/N 月平均/金利より作成

預金関連ソリューション

当社が提供する本ソリューションでは、上記課題に対して金融機関様の資金調達戦略・金利リスク管理の強化と、持続可能な預金基盤の構築を支援します。

【フェーズ1】将来預金マーケット診断

スピード感をもった概算把握

【フェーズ2-1】預金者行動分析

推進・管理両面に活かせる顧客詳細分析

【フェーズ2-2】コア預金モデル提供

当社独自モデルによる精緻なコア預金推計

【フェーズ1】将来預金マーケット診断

①将来の預金残高見通し ②地域別預金増減の要因分析

- 今後の超高齢・人口減少社会の中、将来の預金残高への影響と地域差を可視化します。
シンプルなモデル構造ゆえ推計結果が直感的に理解しやすく、行内での共通認識を形成して課題の明確化に寄与します。

地域(市区町村)

年齢

性別

将来の預金残高

=

将来人口
※人間研データより

×

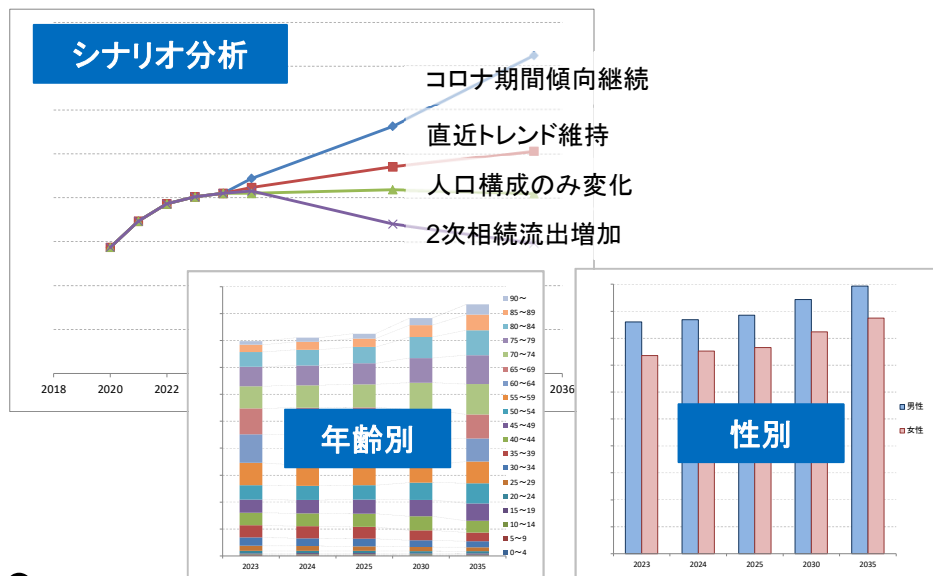
取引率予測値

×

1顧客あたり
残高予測値

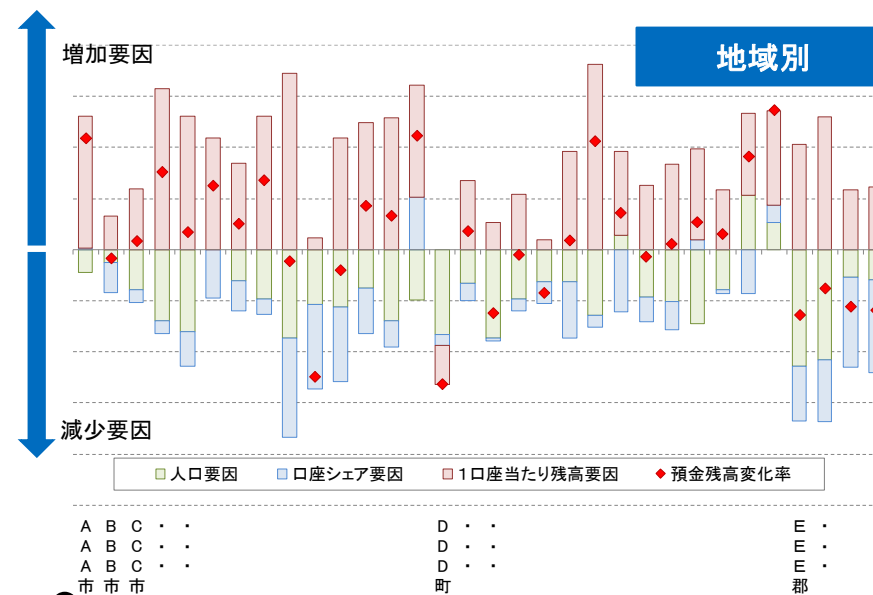
※法人預金については、「顧客数」×「1顧客あたり残高」をモデル式として、直近トレンドをベースに簡易推計します。

アウトプット① 人口構造の変化を考慮した預金残高の将来見通し



👍 人口動態の変化による預金基盤への影響を把握できる

アウトプット② 預金増減要因に関する地域間比較



👍 地域ごとに預金獲得の機会とリスクを可視化できる

【フェーズ2-1】預金者行動分析

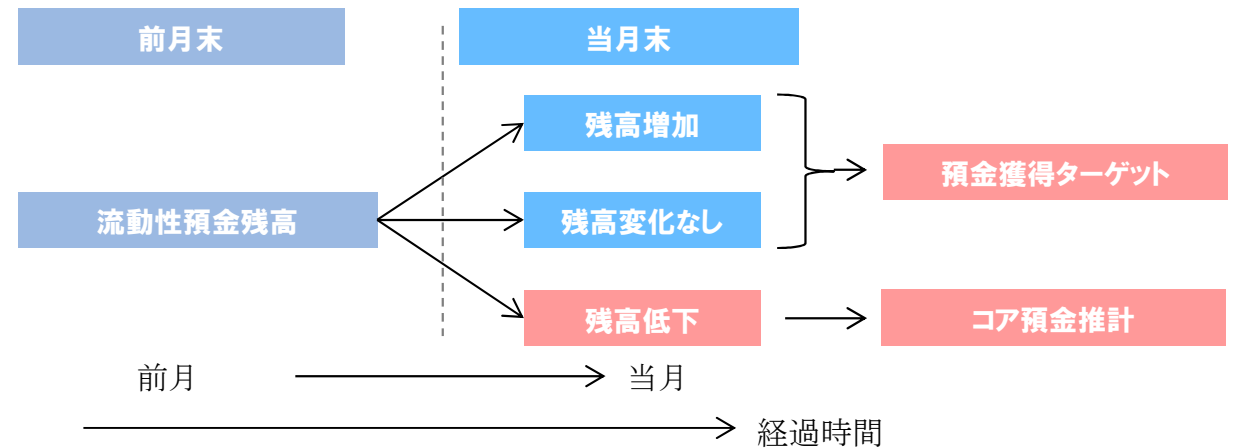
流動性預金の属性別流入・流出特性分析

◆ コア預金モデル構築(事前分析)と 預金獲得のためのマーケティング分析

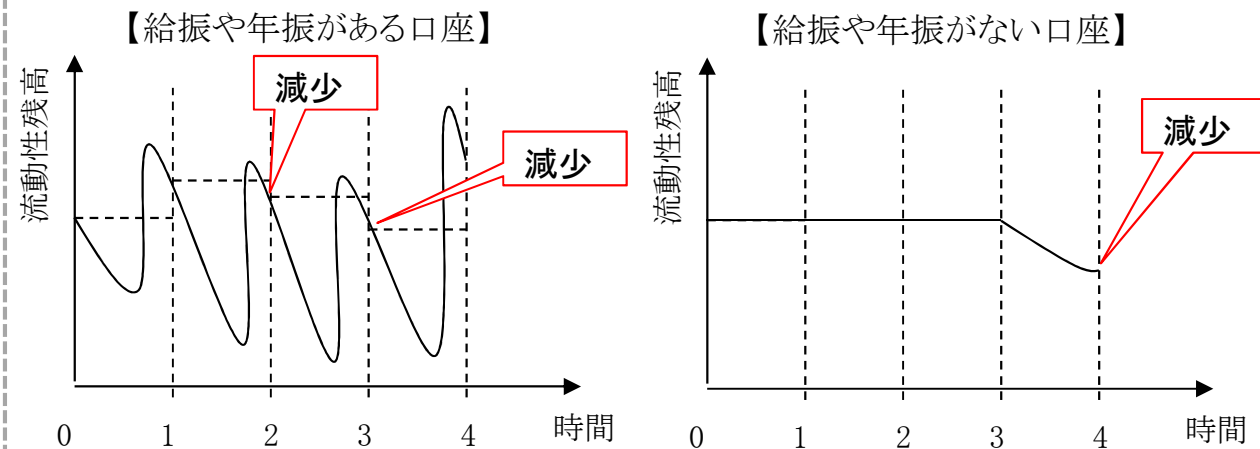
- コア預金モデルを構築するためには、預金者の属性ごとの流入・流出特性を把握することが重要です。当社では、口座単位(または顧客単位)の月次データをもとに、属性別の流入・流出特性を集計します。
- 残高増加および残高変化なし:これらの口座は、預金獲得のターゲットとして位置づけられ、マーケティング対象と位置づけることが可能。
- 残高低下:これらの口座は、コア預金のターゲットとして使用。

上記の分類をもとに、預金マーケティング対象先の特定やコア預金モデルのターゲットとして使用します。

流動性預金残高の時系列変化



属性別口座の動き イメージ



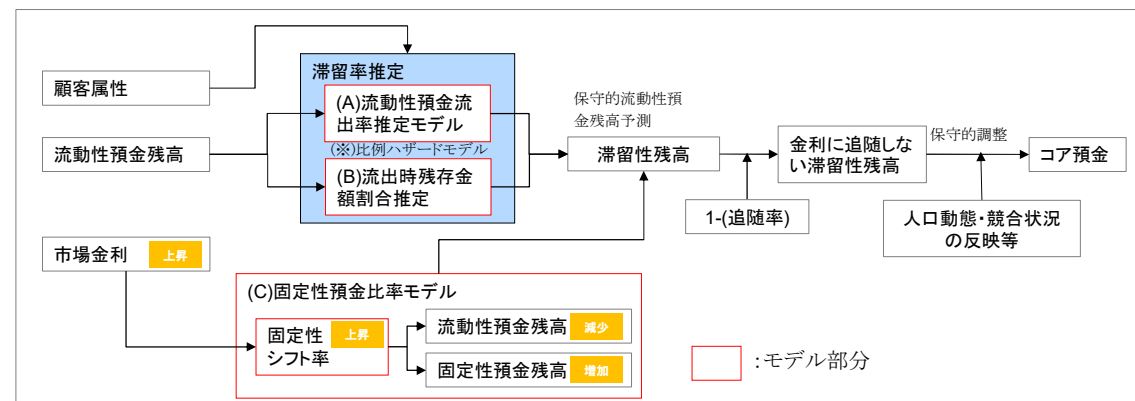
【フェーズ2-2】コア預金モデル提供

金利感応度を導入した当社コア預金モデル導入の特徴とメリット

◆ 当社コア預金モデルの特徴

- 当社では、IRRBB高度化支援をおこなっており、コア預金モデル・住宅ローンのプリペイメント・定期預金のTDRR分析等を他の地方銀行さまにもご支援しています。この豊富な経験から、**金利上昇**に対応した安定性が高いモデルをご提供することが可能です。
- 当社コア預金の特徴として、口座単位でコア預金を推計するため、より精緻なコア預金を推計することができます。

【当社コア預金モデルイメージ】



◆ 当社コア預金モデルのメリット

- 現状のコア預金やALM管理の状況をヒアリングし、定期的なお打ち合わせを通して、各行ニーズに合わせ変数を調整したカスタマイズモデルをご提供いたします。これにより、納得性や説明力が高いモデルとなり、結果として、長期間にわたって安定的に運用できるモデルとなっています。
- 自動継続を基本とした保守契約も、ご提案しており、この契約の中で今後の金利上昇をタイムリーに反映したモデルにアップデートされます。また、定例の検証・バックテストをおこないますので、モデルの信頼性を確保すると同時にモデルリスクへの対応もおこなうことが可能です。
- 報告書に加えモデル記述書を納品、行内や当局対応での説明資料用の素材の提供をおこないます。
- コア預金をシステム内に導入するためのExcelツールを提供します。システムのインプット形式に合わせて提供するため、現状のALMシステムの改修は原則不要です。

【参考】金利感応度を導入した当社コア預金モデルのコンセプト

— (1)金利上昇に対応(金利感応度)

- ・ 金利感応度を導入
- ・ モデル変数に金利を組み込むことで、金利変動の影響を考慮可能にする。
- ・ ポイント: 金利の影響を受けた動きを反映し、現実 に即したモデル構築を実現。

— (2)精度が高い

- ・ 将来預金流入を考慮しない保守的前提を採用
 - 口座単位でモデルを構築することで実現。
 - ポイント: 新規流入を排除した本来のコア部分を推定。
- ・ 口座(顧客)単位でのモデル構築
 - 流動性預金残高の分析を顧客単位でおこなうことで顧客属性を反映。これにより、IRRBB要求項目への対応を可能にする。
 - ポイント: 一般的なモデルの全体的なアプローチとは異なり、口座・顧客単位でコア預金を推定することで精度向上。
- ・ IRRBBシナリオへの対応
 - 金利感応度を導入することで、IRRBB規制シナリオごとのコア預金を表現可能にする。
 - ポイント: IRRBB要求事項との整合性を確保。

— (3)外部環境の反映

- ・ 人口動態や競合状況の反映
 - 人口動態や競合状況など、外部環境をモデルに組み込むことで、より現実的な予測を可能にする。
 - ポイント: 市場環境の変化を考慮した柔軟なモデル。

コンサルティングのご提案に関する留意事項

- ◆ 本企画書において使用している各数値は、ご提案時点において当社が入手可能な情報に基づくものであり、本コンサルティングをご検討いただくための参考数値です。
- ◆ 本企画書は、当社へのサービス委託を貴社にご検討いただくことを目的としたものであり、他の目的に利用されることのないようお願い申し上げます。また、貴社以外でのご利用および第三者への開示はなされないようお願い申し上げます。
- ◆ 本企画書の有効期限は、ご提案日から3か月とさせていただきます。なお、前提となる諸条件等が変更となった場合、貴社と協議のうえ、再度ご提案させていただく場合がございます。
- ◆ 本企画書は、その提出または関連するご回答等をもって、当社が提案する業務の受託を確約するものではありません。正式な業務受託および業務範囲は、当社所定の社内稟議および貴社と締結する業務委託契約書に基づいて決定いたしますので、あらかじめご了承ください。

・本コンサルティングの内容に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

担当者	株式会社 浜銀総合研究所 情報戦略コンサルティング部 小柳・熊倉・廣瀬
住所	〒220-8616 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店ビル
電話番号	045-225-2378 電話受付時間: 当社営業日9:00~17:00
E-mail	部代表: support-joho@yokohama-ri.co.jp 担当者: koyanagi@yokohama-ri.co.jp, kumakura@yokohama-ri.co.jp, hirosey@yokohama-ri.co.jp

・本コンサルティングの内容以外のご相談等は、以下までお願いいたします。

相談窓口	株式会社 浜銀総合研究所 企画総務部
住所	〒220-8616 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店ビル
電話番号	045-225-2371 電話受付時間: 当社営業日9:00~17:00
E-mail	kikaku@yokohama-ri.co.jp

